

「シルバー奉仕デイ」実施

10月19日(金)に、778名の会員の皆さんにご参加をいただき、各地域班で地元地区の歩道のゴミ拾いを行ないました。

長野市民新聞 10月25日(木)号に記事掲載

778人が清掃活動 シルバー人材センター

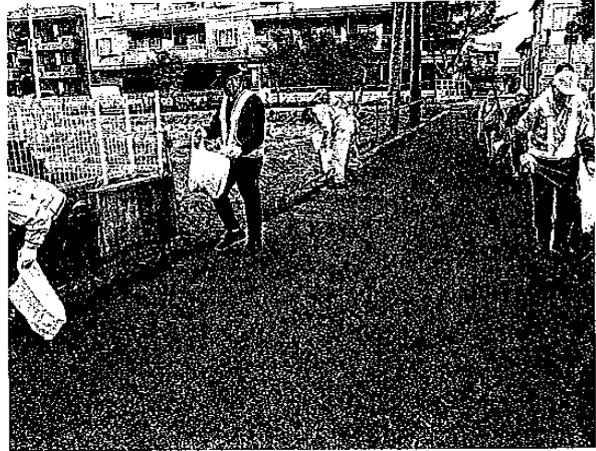


歩道のごみを片付ける会員
(塚田栄利さん提供)

長野シルバー人材センターはこのほど、長野市と信濃、飯綱町の27地域班で清掃ボランティア活動を行いました。計778人の会員が参加し、7時から約1時間、それぞれの地元で取り組みました。

長野シルバー人材センターは4グループに分かれて、歩道でゴミ拾い。瓶や缶、たばこの吸い殻、弁当の空きトレイ、ペットボトルなどを拾いました。同班長の塚田栄利さん(84)は「活動が、地域の人たちのマナー向上につながれば、大変うれしい」と話していました。

300人が道路の清掃活動 長野シルバー人材センター



道路沿いのごみを丁寧に拾う古牧班の会員

公益社団法人長野シルバー人材センター(酒井登理事長)は19日、長野市、信濃町、飯綱町の各所で歩道のごみ拾いを実施した。清掃活動は、4年前から毎年4月8日を「シルバー奉仕デー」として行っているが、昨年10月のシルバー人材センター事業普及啓発促進月間にも実施することとした。毎年行

っているもので、今回が3回目となる。当日は3市町の会員およそ700人が参加。心配された雨も上がり、秋晴れの空の下、長野市の古牧支所前には、地区会員である古牧班のメンバー35人が集まった。同班の松本功班長の「朝の通勤時間なので車に気をつけながらしっかりと清掃をしてください」のあい

さつで2グループに分かれて支所前から清掃を開始、反射板の付いた安全ジャケットと安全ワッペンをつけ、ごみ袋とごみばさみを手には、沿道の空き缶や紙くずなど拾い集めた。

同センターでは今回の清掃の他にも、普及啓発推進月間中に、西尾張部の三陽保健センター内の清掃、草取りなど各地区でボランティア活動を予定している。【倉石秀樹】



シルバー会員が地域でごみ拾い

778人が参加

長野市と飯綱町、信濃町の60歳以上2199人が加盟する「長野シルバー人材センター」は19日朝、「シル

バー奉仕デー」として1市2町の27地域で清掃活動をした。会員778人がごみ拾いに励んだ。

このうち191人の会員がいる更北班は58人が参加。青木島町と稲里町の2班に分かれて、空き缶やたばこの吸い殻などを拾った。写真。

同班の武井政司さん(73)は「青木島町飯綱町は、天候にも恵まれ、多くの会員が参加して細かいごみも拾えて良かった」と話していた。

清掃活動は、毎年10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に合わせて実施。秋の開催は昨年に続いて2回目。